

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2019

8月号  
vol.637

月刊

# 同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

2019年度会員増強研修会  
組織の自主運営で経営者が学び、企業を変える

21世紀型  
自立型  
企業づくり

ホールディング化して『社員に挑戦のチャンスをつくる』

三浦 義孝 氏 [三浦造園土木建設株式会社]

# 福岡同友会へ Message

田川市長

ふたば きみと  
**二場 公人 氏**



一般社団法人福岡県中小企業家同友会におかれましては、中小企業の経営を良くしたいという目的のもと「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」を3つの合言葉に、二千を超える中小企業の経営者の方が、知恵と経験を出して、本音で学びあい、それを自社に取り入れ、実践し、中小企業の経営力強化の積極的な活動、ご尽力に心から敬意を表します。

本市では事業者の振興施策を推進し、豊かで住みよいまちを実現するため、平成27年9月「田川市中小企業振興基本条例」を制定し、この条例の目的を達成するため、「田川市産業振興会議」及び「実務責任者会議」を設置し、同友会の皆様にも参画を頂いております。事業者が元気になる制度や仕組みを考える資料とするため、平成29年11月から市内2,014事業者を対象に「田川市中小企業振興基本調査」を実施し、751事業者から回答をいただきました。

調査設計から調査票の回収、報告会開催等ご尽力いただきました各委員の皆様に敬意を表します。特に、翌年11月開催の「報告会」では、地元の高校3校において、田川支部の皆様からご指導を頂き、田川地域の未来について、『エネルギーシフト』や『新産業創生』等をテーマに経営指針書としてまとめた新しいアイデアの発表があり、いずれも素晴らしい内容で深く感銘を受けました。

現在、「産業振興会議」において調査結果をもとに、「中小企業振興ビジョン」や「実施計画」の策定に向けて議論を重ねていただいております。この議論を令和3年度からの10年間を計画期間とする本市の「第6次総合計画」に反映させていただきます。

また、本市と同友会の皆様と共に「中小企業、小規模事業者のみならず果敢に挑戦できる地域社会の実現」に向けてまい進することを約束し、ごあいさつとします。

大牟田市長

なかお まさひろ  
**中尾 昌弘 氏**



一般社団法人福岡県中小企業家同友会におかれましては、昭和38年に設立され、地域と共に歩む企業づくりを目指し、地域の経済を支える中小企業の繁栄と地域の発展に向けた様々な事業を積極的に展開してこれられました。常に地域の経済の牽引役として、これまで長きにわたり、地域産業の振興と地域経済の発展のためにご尽力いただいております。歴代の役員並びに会員の皆様方に深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

さて、大牟田市では、地域産業の振興のため、関係機関と連携し、地域企業の人材確保、取引拡大、技術の高度化等に取り組んでおります。現在、九州新幹線新大牟田駅周辺の新たな産業団地の整備をはじめ、重要港湾三池港の機能向上や国際コンテナ貨物の拡大など、産業の多様化と雇用の場の確保に向けた取り組みを進めているところです。

そのような中、本年3月には西日本鉄道株式会社の観光列車「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」の運行が開始されました。また、11月には筑後地区唯一の動物園である大牟田市動物園を舞台にした映画「いのちスケッチ」が公開される予定であり、本市をPRする絶好の機会と捉え、地域の活性化に繋げてまいりたいと考えております。

皆様方におかれましては、地域経済の牽引役として引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、福岡県中小企業家同友会の益々のご発展と会員の皆様方のご活躍・ご健勝を祈念申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

## 同友会 3つの目的

### よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

### よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

### よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

## はみだしレポート

今月の自立型企業づくり



三浦造園土木建設株式会社  
代表取締役  
**三浦 義孝 氏**  
(西支部)



株式会社サワダ  
代表取締役社長 **花田 理恵**  
(西支部)

私が三浦さんをご紹介します

「ガハッ」と大きな笑い声、黄色の作業服、リーゼントヘアと言えば西支部の兄貴こと三浦造園土木建設(株)の三浦義孝さんです。

三浦さんを一言で表すと、大きい(お腹じゃないですよ(笑))人としても大きく、懐の深い方です。西支部の前支部長でもあり、いつもドンと構えていて何が起ころうと大丈夫、大丈夫と冷静であり、問題にまつすぐ向き合われる姿勢は頼りがいがあり、ついていけば間違いないと思わせる魅力たっぷりな方です。

いつも三浦さんの周りは老若男女たくさんの方が集まっています。そし

て、ワイワイガヤガヤと盛り上がりがあります。三浦さんといると何か楽しいことがあるのではとワクワクするからです。

経営指針書、新卒採用、社員教育に熱心に取り組まれ、会社もどんどん強く大きくなっています。良いと思ったことはすぐに実行に移す行動力、パワーがあり、それを継続する持久力も持ち合わせています。お酒もめっぽう強いです。怪物かもしれませんね(笑)。

今後の御活躍も目が離せない経営者の一人です。

### AR動画は先月号をもって終了しました

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすとAR動画が見れるサービスは先月号をもって終了しました。

来月9月号からは新しいウェブとの連携サービスがはじまります。ご期待ください!



### 今月の表紙 「那の津往還」 博多港引き揚げの記念碑

撮影・文／ 富谷正弘(玄海支部)  
株式会社ココスイメージ

「那の津往還」はマリンメッセ福岡の横の海辺にあります。高さ15m、長さ17mの鉄製。1996年に制作。国際的に活躍された彫刻家、豊福知徳さんの作品です。

博多港は終戦後、外地から約140万人の引き揚げ者が上陸した港です。その悲しい歴史を刻む記念碑には、戦争をしない国「日本」であって欲しいという次世代に対する反戦の思いが作品に込められています。

# 増強

5月29日、会員増強研修会が開催されました。  
愛知同友会から高瀬喜照氏を招き、会員増強の重要性を話していただきました。  
福岡同友会は今期末会勢2500名を掲げています。  
そこで増強研修会の内容を振り返るとともに  
同友会づくり推進本部から二名の方に意気込みを語っていただきました。

## 2019年度会員増強研修会 組織の自主運営で 経営者が学び、企業を変える

### 【内容】

弊社は金型業を営んでおります。創業者の父、そして私は職人でした。金型業界は非常に厳しく、経営を学ぶために同友会に入会することになりました。

若い会員さんから刺激を受け、会社を大きくするために社員数を増やしていこうと考えました。お客さまからの要求、品質、納期や価格などが厳しくなると、社内からの反発も増えていき、社内は対立状態でした。

そんな時期にインターンシップを受け入れることにしました。学生たちに自社の経営理念について話し、会社は人間尊重の経営で自己成長の場であると伝えました。彼らは、素直に受け止めてくれました。

期待感を感じ、14年前から新卒採用を始めました。やりがいを持って働く人を育てて

いきました。問題はありましたが、誠意をもつて接すれば解決できますし、社員も悩みながらも成長していきます。お客様から褒められることでさらに成長し、より難しい仕事に自主的に挑戦していきます。潜在能力が発揮でき、人のためになりたいと思うようになります。まさに人間尊重の経営です。新卒採用で社員を増やしたことで私の自信にな

りました。同友会でも同じでした。私が地区会長（福岡という支部長）の時代に会員を28名から64名に増やしました。さらに、会員による自主的な運営を勧めていきました。そのための環境づくり、組織づくりをしました。同友会は教わる会ではなく、気づきの会なのです。

## 会員拡大と 企業経営は 不離一体

解決できない問題は委員会活動の参加を促しています。

地区（支部）運営費は人数割りで計画予算化に変え、自主的な計画をしていることに割り当てるようにしました。

所属地区（支部）は紹介者のいる地区では

なく、会社所在地の行政地区にして、より地域に密着できるようにしました。

同友会が目指しているものと会社が目指しているものは同じで、社員の幸せの追求です。同友会の学びを自社で実践することでいい会社になっていきます。同じ志を持った仲間を



報告者  
株式会社 高瀬金型  
代表取締役 高瀬 喜照 氏  
(愛知同友会 副代表理事)

また、定期的なグループ会（福岡というブロック会）を開催しました。会員訪問を通じて具体的な経営課題を会員同士が話し合います。その中から例会のテーマを見つけられます。例会は会員の経営体験報告で、グループ討議で内容を深めていきます。例会で増やすというのは会社も同友会も同じです。同友会運動と企業経営は不離一体なのです。

同友会で学び理念経営を通して、いい会社が増えていけば、いい社会になると思います。文章担当▶広報部 菅原 弘（東支部）

## 会勢2500名に向けて 仲間づくりは楽しい！

ある会員さんから「仲間づくりは楽しいって…本当ですか？」と怪訝な顔で質問を受けました。

「だって今年度の目標は20名だ、年度末まであと10名だと、何やら会社でノルマを与えられる営業マンのようでしょう」と仰る。その焦燥感とも取れる声からは、楽しさも喜びもほとんど感じられません。でも考えてみて下さい。仲間が増えて支部に新しい風が吹き、様々な経営体験を積んだ仲間を辞書の一ページに加えることは、本来、とても嬉しく楽しいはずなのに…なぜなのでしょう。

仲間づくりで忘れてはならないのは「楽しんで」ということだと思います。会社でも愉快に楽しく仕事をしたいものですよね。同じことだと私は思います。それは気持ちの問題だ！と言いたいところですが、実は一蹴でき

ない何かがあるのではないのでしょうか。これら目標達成を楽しむためには「なぜ」と言う目的が大切で、次に「どうなる」というビジョンが見えていないから、腑に落ちないのでは

## ノウハウ継承と 明るい未来を語る 経営者に

ないのでしょうか。

同友会の3つの目的に「良い会社」があります。先人が自ら学んで実践し、その結果



報告者  
副代表理事  
同友会づくり推進本部長  
山田 秀樹 氏（福岡支部・相談役）  
日本ビルケア株式会社

得られた労使見解や経営指針書の成文化など、きちんと取り組むと成果に繋がる考え方やアイテムが同友会にはあります。先人達が良い会社を目指し、その実践結果をまた同友会で報告し深めてまた広めることで、多くの会社が強靱な経営体質へと変貌していったという現実を見ると、多くの仲間同友会を伝えたい心境に駆られます。この集団の知の形成こそ増強の「増」に他ならないのだと思います。この仲間づくりを実践するためには「良い経営者」を目指す必要があります。やはり同友会で自社が良くなること、

自社経営で苦悩する経営者を何とかしたいと考えますよね。そんな同友会の「語り部」を増やすことが「強」であると思います。それは結果的に増にも繋がり、両方が相まって経営者が、社員さんや家族が、そして地域が、活気に満ちた明るい未来を語れるように

なる、それが「増強」だと私は思います。時代は上りもあれば下りもあるし、企業も人も良い時もあれば悪い時もある。我々はそれらを受け継ぐいわばDNAであり、次世代へ同友会の想いを繋いで行く大切な継承者だと思っております。その意味で会員ひとり一

人が、会員である自分自身を継承してくれる次世代を担う人材を、ひとりでも多く入会させることは、明日の同友会を次世代に繋ぐ、我々の使命だと思っております。

## いま、会員増強を考える

福岡同友会会勢2500名という大きな目標を達成すべく、本年度会員増強部長を拝命いたしました。

この大役をいただき、最初に考えた構想が「マンパワーに依存しない、組織としての増強」でした。

これまでの増強（仲間づくり）は、会員が自主的にお知り合いの方をお誘いする方式や、支部によっては例会や同友会を知る会にお知り合いの方をお誘いするという方式を取られていたかと思えます。

これらの方法が仲間を増やすために最も効果的なのは間違いありませんが、一方でゲストをお誘いしてくれる会員個人の力に大きく依存したやり方になってしまい、それぞれのモチベーション次第で結果が変化する、いわばナマモノの増強と言えるのではないではないで

ようか？

そんな会員さんの後押しをするもの一つとして、様々な支部や増強推進本部で作成・運用しているFacebookなどのSNSを活用した、いわば空中戦略を考えました（左表の方針・活動計画の赤色の項目）。

すでに、同友会HPなど、同友会を浸透させるため様々な方策がとられています。

## マンパワーとともに SNSを活かした新たな方策を

フォローも奏功し入会された方もいらっしゃる

ます。

また、新入会員のフォローも、増強や会の発展の重要な要素になります。

昨年制作されたメンター手帳はもちろん、e-doyuの使い方をレクチャーする動画や、各支部での取り組みをまとめたツールを新たに作成し、新会員の方々が自然に会の活動に参加できる仕組みを作ると同時に、新入会員のフォローに掛かる労力も軽減できると考

HPを見ていただくためには、基本的には検索サイトで探さない限り同友会HPに辿り着くことができません。簡単にいうと、既に同友会を知っている方しか見ることがないと考えられます。

一方、FacebookなどのSNSの良さは、日常のコミュニケーションの延長線上に同友会との出会いと接触の機会を作ることができることです。言い換えるならば、「同友会を認知し興味を抱いてもらい、その後、例会や知る会などに参加いただくためのルート」を伝える

えます。

これまで同友会として積み上げてきた増強の流れをしっかりと踏襲しつつ、新たな方策を探り、会員の皆さんが増強を進めやすい環境を整え、会全体で目標の数字に挑むこと、それが、私たち増強部の役目になるのではないかと思っています。

会員増強部は毎月第一月曜日に、増強部会議を開催しております。皆様のご参加をお待ち致しております。

## 今年度の増強部の方針

### 方針

- 2019年会員増強目標を2500名とします。
- 増強会議に全支部から担当委員さんに参加いただき、楽しみながら増強ができる仕組みを構築します。
- 増強部Facebook等を積極的に運用し、会外の方に同友会を知っていただくベースを作ります。
- 前年に作成した増強ツールの活用を促進し、また、適宜情報をアップデートし、その運用を進めます。
- 空白地区に新支部を立ち上げるための事前準備を行います。

### 活動計画

- 増強研修を開催し、増強に成功している支部等の方法をシェアし、会員の意識高揚を図ります。
- Facebookを公式なアカウントとして運用できるように、SNSガイドラインの制定を目指します。
- 同友会の増強に役立てるため、福岡同友会の紹介動画を作成します。できあがった動画は、HP・Facebook・各知る会などでご覧いただけるようにします。
- 新入会員を定着させるために、e-doyuの活用方法を動画にて作成します。
- 前年作成したポスターを会員企業に掲示いただけるよう働きかけます。
- 知る会を開催していない地区・支部に知る会を開催していただけるよう、知る会を開催している支部にご協力いただき、増強担当役員が知る会を見学できる機会を設けます。

# ホールディング化して「社員に挑戦のチャンスをつくる」

働きがいのある会社、働きやすい会社



三浦造園土木建設株式会社 代表取締役

三浦 義孝 氏  
西支部

社員の可能性を最大限伸ばし、高い技術を持ってお客様と喜びを共有することをモットーとする三浦造園土木建設株式会社。具体的な動向としてホールディング化を図りました。「働きがいのある会社」と「働きやすい会社」の必ずしも一致しない命題にも取り組んでいます。

## 社長になりたかった

「今年で創業20周年になります」と語り始めたのは、三浦造園土木建設株式会社の代表取締役、三浦義孝さんです。

三浦さんは、昭和40年、福岡に生まれました。日本大学農獣医学部卒業後、上場企業であるゼネコンの植木組東京支店に勤務します。本人は独立志向が強く、「社長になりたい」と思っていました。12年ほど勤め、土木建設業のノウハウを修得し、その道で独立を決心しました。父親の三浦明義さんが、福岡市役所の要職に就いていたので、その人間関係を活かすべく福岡の地を選びました。父親には3年ほど社長に就いてもらい、造園業OBを迎え入れ3人でスタートしました。

公共工事を受注したいと考えていましたが、創業当時は業界にある旧態依然としたしきたりがあり、いわゆる新



参者には仕事が続いてきませんでした。「鬼の三浦」の異名をとる三浦さんは、頑固なまでに筋を通し、媚びることはありませんでした。その姿勢にやがて賛同、指示する人が出てきて、県や市の組合の理事になっていきます。現在では仕事ぶりが評価され、Aランクの仕事を受注しています。「初めは個人宅の小さな仕事や大手の下請けでしたが、元請けになるようになってから実績がグンと伸びていきました」と三浦さんは振り返ります。

## 経営指針書作成

同友会には平成21年、(株)小山千緑園の小山徹志さんの勧めで入会しました。同友会の最大の特徴である「経営指針書の作成・実践」についてお伺いしました。「ゼネコン時代に仕事をしていく際に、そういうものがあるのを知っていて、真似して持っていました。入会してすぐブロック長を仰せつかり、会員さんに経営指針作成セミナーの参加を勧めました。まず自分が受講しないことには人に勧められないと実感しました」と自ら「あすなる塾」と「経営指針作成セミナー」を受けることにしました。

「受講中は、外部との連絡を一切絶つので、自社について考えるにはとても有意義な時間でした。それまではブル

壁に飾られた社訓



社員みんなで作成した経営指針書

ドーザーのごとく働いて、売上をつくり社員に給料をあげれば良いと考えていたのですが、「何のために、何を使命として仕事をするのか」を考えるきっかけになりました」

そこでできた理念は次の通りです。当社は、世界の緑空間を通じ「良い仕事を、早く、安く、気持ちよく」行い、人・地域・企業と幸せを共有します。

現在では、三浦さんが方針を示し、社内全体で具体策を検討しています。

## 新卒採用へ

仕事が増えるに伴い、中途採用で人材を確保してきました。同友会では共同求人委員会に入り、新卒採用の重要性を学びました。合同企業説明会に臨みましたが、自社のブースには学生が全然来ません。他社のしていることを真似して取り組んでみました。何とか採用にこぎつけたものの、当時は就職氷河期で、留年して職を探すより、いったん就職して気に入った仕事があれば転職しようという人だったのです。外見だけの真似をしてもダメだと気づき、共同求人委員会で本腰を入れて学び直しました。

経営指針書のほか、就業規則等社内の働く環境を整えることから始めまし

## 働きがいのある会社

(株)宮崎園芸をM&Aし、ミウラホールディング(株)を立ち上げました。この狙いを三浦さんはこう語ります。「若い社員に挑戦させたいと思っています。一つの物件を任せて仕事をさせてみる。責任感が違います。やりがいが出てきます。ホールディング化でポストが増えます。取締役に起用して可能性を伸ばしてみます。その方がワクワクしておもしろいはずですよ」

社員の可能性を引き出してあげるのも社長の仕事と考えています。任せた



従業員の皆さんと

# 支部自慢

## 東支部

今回から始まりました新シリーズ『支部自慢』。  
トップバッターは『東支部』です

熱いグループ討議



報告者



東支部長 明石 勝善  
株式会社きねや 代表取締役

例会風景



会員同士は仲良し



朝倉地区への有志によるボランティア



ハイチーズ!

**支部例会の出席人数が多いこと**  
ブロックごとに担当する月例会はとても活気のある例会です(会員150名参加例会もありました)。  
**熱い経営者が多いこと**  
討議になると白熱し、パワフルな経営者に元気をいただきます。  
**最後に会の雰囲気アットホームでとても参加しやすい支部です**  
情に厚く、有志でボランティア活動も行っています。

東支部はこんな支部です。  
**会員の年齢層の幅が広いということ**  
いろんな経験を重ねた経営者がたくさん在籍されていて、公私ともに悩みごとを相談できる確なアドバイザーをいただくことができま  
す。現在東支部の辞書は252ページで構成されています(2019年6月末現在)。  
**30代後半から40代半ばの会員さんが多く支部をになう人財が豊富であること**  
役員メンバーが若く新たな風を吹き込み、これからの東支部の運営も安泰かつ有望です。

2019年度 東支部スローガン  
**学びを实践する**  
**経営者・企業をめざす、支部づくり**

元気っぱいの仲間たち



取材時は西支部会員のみなさんも参加しました

### 働きやすい会社

5年ほど前から休日カレンダー作成など労働条件の改善にも取り組んでいますが、最近では顧問の多比良修さん(社会保険労務士法人たひら労務管理事務所・現西支部長)を入れて有給休暇5日の消化について話し合いました。社員20名が5日休むということは年間100人工(にんく)になります。1人工あたり2万円と換算すると200万円に相当します。「それをどのようにカバーするか。社員一人ひとりが、生産性・効率性を上げるために自分で考えて自主的に働いてもらうことを促しています」現場ごと仕事内容の難易度も異なっているため、他のチームを助け合う精神、これを三浦さんは「大慈悲」と呼んで、お互いを助け合うように社員に説いています。

社員とのコミュニケーションを深めるために、定例会と称してミーティングの後にお寿司屋さんに行つて大いに語り合う会合を開いています。来年には東京オリンピックツアーを計画しています。

**地位・役職は人を育てます。社員のやる気を引き出すのが私の仕事。**

### 次なる10年

創業20年を迎え、次なる10年の展望をお聞きしました。「支店を出していきたくですね」と三浦さん。候補地としては、自身がかつて働いていた東京、震災からの復興を目指す福島県相馬市、ここは奥さんの実家で、ひとときわ思い入れがあります。そしてベトナムにも思いを馳せます。

取材の最後に三浦さんが考える「自立型企業」について伺いました。「社員の幸せ、そして夢を叶えていく会社。そして社員にチャンスを与える」



三浦さんの趣味は「釣り」

### 三浦造園土木建設株式会社

創業 2000年4月  
住所 福岡市東区青葉1-19-21  
電話 092-691-1439  
従業員数 22名  
HP-URL <http://www.miurazoen.com>  
事業概要 造園・緑化・土木工事の企画、設計、施工、請負。個人、企業等の緑化、外溝、樹木管理。



取材協力ありがとうございます。  
取材 広報部  
文章担当 菅原 弘(東支部)  
写真 富谷 正弘(玄海支部)

それぞれが自主的に動く会社だと思えます。社員の成長を見るのがとても楽しみです」  
社員の顔を見ては「てっぺん(業界トップ)獲ろうや!」とハッパを掛ける三浦さんです。  
取材協力ありがとうございます。

一般社団法人福岡県中小企業家同友会  
2019年度第2回理事会議事録 (一部抜粋)

日時 2019年6月26日(水) 14時30分~17時25分 出席 39名(出席率86.7%)  
会場 福岡県中小企業振興センター 401B号会議室 議長 古川 淳一(理事:福岡地区会長)

協議事項

第57回定期総会について

資料に沿って専務理事より第57回定期総会の振り返りが行われた。

- 各組織からの意見を集約し、課題をまとめた。
- 総会の企画に関すること
- 案内および参加促進に関すること
- 議案審議に関すること
- 総会設営の予算、経費に関すること
- 当日の運営について

来月以降は、順番づけして、行程を決める。年内には、総会の位置づけ、開催の仕方、方向性について正副代表理事会議で整理し、理事会に提起する。10月まで理事会で議論を継続するので、各組織から意見を出すよう呼びかけられた。

理事会報告全文をe.doyuの文書管理(理事会報告-2019年度)にアップしています。会員の方は閲覧できます。

報告事項

会員及び会員企業の動き

- 経営革新計画承認企業  
2019年5月(県45件/うち同友会会員・企業2件)
  - ・(株)きくち 菊地 裕子氏(福友支部)  
<テーマ>新商品「梅香もち」の開発と販路拡大
  - ・セラピーやよし 弥吉 京子氏(りょうちく支部)  
<テーマ>非公開
- ※累計で福岡県全体では6,438件、会員企業は延べ463件

表彰など

- 中小企業庁  
「はばたく中小企業・小規模事業者300選(2019年)」
  - ・油機エンジニアリング(株) 牧田 尚起氏(筑紫支部)  
(担い手確保・サービス)
  - ・(株)東洋硬化 小野 賢太郎氏(久留米支部)  
(需要獲得・ものづくり)

Let's GO!!

委員会へ  
行こう!!



広報情報委員会

理念や姿勢、志など目に見えないものだからこそ  
言葉や写真、情報にして発信したい

広報情報委員会の紹介

広報情報委員会は同友会づくり推進本部に所属し、女性部委員会、青年部連絡会、同友すばる委員会、会員増強部と共に福岡同友会の発展のために同友会運動を推進して同友会づくりを行います。  
広報情報委員会では広報部と情報部の2つの部会が活動しています。  
広報部は菅原弘さん(東支部)、情報部は齋藤純さん(博多支部)がそれぞれ部長として活動をけん引しています。



菅原広報部会長 濱田委員長 齋藤情報部会長

広報部担当  
月刊同友の発行

広報部は主に月刊同友の編集から発行までを行っています。発行までにはまず、発行の4ヶ月前から企画立案(企画会議)を行い、取材をし、執筆者を決め、原稿作成までします。

次に、編集会議を行い校閲をし、デザイン、校正までします。最後に、確認が行われ、印刷・製本。そして毎月発行します。



理念

最新の情報を発信する。  
正確な情報を発信する。  
現場主義で情報の収集に努める。  
会員目線を忘れない。

方針

- 1 同友会の魅力を会外に発信することで会員増強につなげる。
- 2 情報を会内部で共有する。
- 3 各委員会の情報を発信する。
- 4 各地区、支部の情報を発信する。
- 5 マスコミ各社との信頼関係を強化する。

情報部担当

県Webサイトの管理

- 県Webサイトの運営目的は、
- ①同友会の活動を会内外に発信する。
- ②同友会を知らない経営者に入会を促進する。
- ③同友会の活動を広く地域やメディアにPRする。



この3つを目的としています。福岡同友会の県Webサイトは2014年6月のリニューアルから5年が経過しました。次年度には「運営目的の達成強化」とそれに伴う「利用率の向上」に向けて、リニューアルを実施する予定です。

最後に

広報情報委員会の活動結果は、会員増強に表れます。情報を発信し続けることが重要です。その結果企業が良くなり、その成果を会外や会員に情報発信する、このサイクルが回りだすと同友会が強くなります。

広報情報委員長 濱田満広  
(大牟田支部)

同友会イチオシ  
オススメの書籍

働く環境づくりの  
手引き



第1章…「働く環境づくりのガイドライン」とは/  
第2章…経営者の覚悟(経営姿勢)/第3章…10年後の働く環境ビジョン~社員と語り合いながら/  
第4章…現状確認~「働く環境分析シート」の活用/  
第5章…未来年表~10年ビジョンを達成するための未来計画を定める/  
第6章…付加価値(生産性)向上計画~働く環境づくりのための計画を定める/  
第7章…就業規則の改正計画~人を生かす就業規則の本来的あり方/  
第8章…組織的取り組み~社員とともに見直し、運用する

A4判/40ページ/頒価1,000円

簡単にできる  
就業規則の作り方



本書は、主に就業規則を初めて作成する社員十人未満の会社で活用されることをめざし、(株)日本法令から刊行され、中同協が監修したものです。  
①決めるべき内容を知る、②社員とともに現状をチェックする、③「就業規則要件確認一覧表」を整理する、の3ステップで就業規則の作成を進める内容となっています。

A5判/63ページ/頒価500円

新版：共に育つ2

働くことの意義と成長、  
労使見解と共育の関係を考える



全5冊シリーズを予定している「共に育つ」の第2巻目。梶谷俊介・中同協社員教育委員長の問題提起「私たちの経営に労使見解をいかすために」(2016人を生かす経営全国交流会問題提起より)、二宮厚美・神戸大学名誉教授の「人格の発達と労働の役割」(共に育つ1より加筆修正)を掲載。人間にとっての労働の意義、そして労使見解を軸にした「共育」をどう考えるかを学べる一冊。

A5判/63ページ/頒価500円

新たに3つの書籍が発刊されました。ご購入の際は事務局までご連絡下さい。







大募集!!

# あなたの写真が表紙になる!!

～月刊「同友」表紙フォトコンテスト～

このたび広報誌月刊「同友」を会員の皆様により身近に感じてもらうために、表紙のフォトコンテストを開催することになりました。たくさんの応募をお待ちしております。

## 募集テーマ

## 「私の仕事」

仕事の様子や仕事の結果など  
(生産物や作業によってできあがったものも可)

### 掲載

月刊「同友」2019年10月号(vol.639)

### 応募資格

福岡同友会会員

### 応募締切

2019年8月30日(金) ※ データ必着

### 募集要項

- 縦位置・カラーの作品に限ります。
- 写真の説明文を150文字以内に記載したデータをご提出ください(ワードやテキストなど)。
- 1600万画素以上またはファイルサイズ6MB以上の写真データ(JPG)を提出ください。プリントされたものは不可とさせていただきます。(ケータイやスマートフォンで撮影したものは不可)
- 応募はお一人様一点までとさせていただきます。
- 表紙写真に選ばれなかった場合でも裏表紙等で紹介させていただく場合があります。

### 審査方法

広報情報委員会広報部員による審査

### 結果発表

10月初旬に届く月刊「同友」をお楽しみにお待ち下さい。

### 注意事項

- ・ 応募作品は未発表または発表予定のないものに限ります。SNSやブログへ発表した作品については、応募可能です。
  - ・ 被写体が人物の場合、ご応募に際しては、必ずご本人(被写体)の承諾をいただってください。また、被写体が未成年の場合は、親権者の承諾が必要です。
  - ・ 他人の著作権、肖像権を侵害するような行為が行われた場合、それに関するトラブルの責任は一切負いかねます。
  - ・ 応募者本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限ります。他の人の名前を使用した場合は失格になります。
  - ・ 応募作品の著作権は撮影者に帰属します。
  - ・ 入賞決定後に違反が判明した場合は、入賞を取り消させていただく場合がございます。
  - ・ 一般社団法人福岡県中小企業家同友会は入賞作品を無償で使用する権利を有します。
  - ・ 入賞作品は一般社団法人福岡県中小企業家同友会の広報宣伝物への掲載(広報誌などの印刷物、またはホームページ、ブログなどのwebコンテンツとしての2次利用など)で使用させていただきます。
- ※ 撮影者の氏名等を表示する場合がございます。

### 作品応募先

一般社団法人福岡県中小企業家同友会 事務局 旭

✉ s\_asahi@fukuoka.doyu.jp

### お問合せ先

一般社団法人福岡県中小企業家同友会 事務局 旭

☎ 092-686-1234

※ 審査・審査結果に関するお問い合わせにはお答え致しかねます

月刊同友10月号



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会  
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号  
福岡県中小企業振興センタービル11階  
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39  
クルーズ浅野ビル 808号  
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1  
祥栄ビル2階  
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索